

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：英語Ⅱ	授業コード：11030
担当教員氏名	Lester Ng
<p>You did a great job and worked hard last semester! You participated well in all class activities!</p> <p>In the future, please ask more questions when there is something you do not understand. And practice speaking and listening English when you have time. It is very easy to forget languages.</p> <p>Thank you again for all your hard work! It was a pleasure to get to know you and teach you English. Best of luck in your future studies!</p>	
授業科目名：情報処理	授業コード：11050
担当教員氏名	大井 慈郎
<p>課題の量に関しては、もともと授業中に全て終わることを想定していない。毎年、次回の授業までの日数を考慮し、量の調整を行っている。課題が難しく進捗が芳しくない場合は、気軽に質問にきてもらえると、一緒に進めていくことができる。</p> <p>授業のスピードに関しては、授業展開の方法が、何度も繰り返して慣れることを目標にしている。1回目で追いつけなくても2回目と繰り返せるようになっている。安心感をもたれすぎても困るが、授業展開の方法について重ねて説明していきたい。</p> <p>引用や文献の方法については、引き続き基礎ゼミなどで学んでもらいたい。</p> <p>パソコンの不具合は、定期メンテナンスをしても発生してしまうので、ある程度の部分は許容してほしい。</p> <p>iPadでの受信に関することは、大学のwifi環境の問題である。改善の要望はこちらでも提出しておく。</p> <p>ファイルサーバの学外からの閲覧に関しても、同様である。ただ、必要なファイルはファイルサーバから事前にコピーしておいてもらえると、自宅でも閲覧可能である。</p>	
授業科目名：対人コミュニケーション	授業コード：12010
担当教員氏名	岡田 実
<p>早期体験実習に活用できるように工夫していきます。</p>	
授業科目名：人間と心理	授業コード：12030
担当教員氏名	岩木 信喜
<p>「発言や質問の機会」は授業最後のレスポンスカードで実施していたが、学生の評価としては少なかつたようなので、来年度は授業中の質問時間も設けたい。</p> <p>また、動画を取り入れてより興味深くしたい。</p>	

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：地域の文化		授業コード：13010
担当教員氏名	相澤 出	
<p>今期は講義にお付き合いいただきありがとうございます。一見すると看護と関係がなさそうな講義なのですが、看護との直接あるいは間接的なかわりや、地域医療との接点を感じてもらえたようです。関心を持ってくれたり、他の講義にはない内容であることを楽しんでくれた受講者も少なくなかったようで、ありがたいことです。ただし、かんじんの講師の私が、板書でのミス（番号とカッコ内の記述のずれ）を連発し、混乱を生じさせてしまいました。これについては、講義に余裕をもって臨むことで改善を図る予定です。さらに、講義内容の増量により、シラバスの内容の最後尾の部分の解説が終わらないところがありました。時間のコントロールのミスについては、来年度、シラバス校正を変更することで改善する予定です。</p>		
授業科目名：暮らしの科学		授業コード：13020
担当教員氏名	菅原 尚史	
<p>・当初のプログラムで演習を4テーマ用意していたが、スケジュールの関係で1テーマを割愛した。来期は最初から3テーマに絞ることにします。</p>		
授業科目名：家族という社会		授業コード：13040
担当教員氏名	相澤 出	
<p>今期も本講義におつきあいいただき、ありがとうございます。昨年に比べて講義内容を増量したため、感想にもありましたが、内容が凝縮され過ぎていて忙しかったとありました（余裕がない講義で申し訳ない…。たしかに8コマである内容はかなり凝縮だったと思われます。たった8コマなのでねえ…。）。加えて資料が多すぎて、ファイルサーバーから見つけた時には話が進んでしまっていた、ということも指摘されていました。確かに資料が多かった上に、資料の提示に関してこちらに至らないところがありました。来年度は資料提示の仕方を工夫しようと思います。家族のことは、一年次の内容と違って身近で具体的である上に、看護にも深くかかわるところがあるせいか、結構多くの方がコメントペーパーにいろいろと感想や質問をくれました。来年度はさらにもう少しの講義内容の増量を考えているのですが、なるべくうまく内容を分かりやすく紹介できるように努めます。</p>		

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：憲法	授業コード：13050
担当教員氏名	菊地 洋
<p>今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、急遽、教室の仕切りを外し、大教室での講義でした。そのため、毎年実施していたグループワークができず、また、みなさんの意見をうかがいながらの双方向型の講義が十分に展開できませんでした。結果的に、こちらからの一方的な講義になりがちで、皆さんにとっては、退屈な講義となってしまったのではないのでしょうか。受講生との距離が離れたことで、私も受講生の顔と名前を一致させることができなかつたのは残念でした。</p> <p>私は、憲法という科目を通じて、皆さんがこれから日々接することになる患者さんの人権や、患者さんやご家族を取り巻く社会情勢、そして日本の社会保障制度などについて考えるきっかけになってほしいと思っています。その一環として、今年度は社会保障制度に関しては、タブレットのデジタル教科書の一節を用いて講義を行いました。十分とはいえませんが、みなさんが持っているデジタルコンテンツを利用した講義は、今後も展開していきたいと考えています。</p> <p>次年度も、「憲法」を担当させていただくので、何かあれば、いつでも声をかけてください。</p>	
授業科目名：社会と福祉	授業コード：13060
担当教員氏名	相澤 出
<p>今期の講義にお付き合いいただき、ありがとうございます。昨年以上に講義内容をかなり増量させたため、胃ささか余裕のない講義となりましたが、なんとか予定されていた講義内容を扱うことが出来ました。受講者のみなさんも、なかなか大変だったと思います。さて社会保障、福祉に関する制度については、他の講義でも取り上げられる重要な内容です（国試にもできますから）。内容は重なってくるのですが、他の講義とは視点が違ったのでよかった、あるいは他の講義と関連付けて講義を受けることが出来たとあり、とてもよかったと思います。なかには内容が重複するので、時間をとる必要があるか疑問であるとの声はありましたが、一度話を聞いてそれをすべて理解できる人はめったにおりません。制度に見慣れていくこと、さまざまな説明に触れることで、理解も深まり、苦手意識も薄れていきます。板書の書き間違えが多いとの声がありました。これについては、全く申し訳ありません。改善に努めます。講師に疲れが見えるとの声もありました。なるべく無理をしないようにします。</p>	
授業科目名：自然科学	授業コード：21010
担当教員氏名	川崎 敏
<p>改善してもらいたい点のほとんどが、問題の解答がほしい、ということでした。不明な答えは少し時間をかけて自分で考えたり、友人に確認したりしてほしいという考えから解答の公開をすぐにしませんでした。結局、全講義終了後、定期試験の前にサーバーに解答をアップしました。来年は、各講義の1週間後くらいに解答を示していこうと思います。</p>	
授業科目名：環境生態学	授業コード：21020
担当教員氏名	竹原 明秀
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護に係わる部分を増やし、人間と環境の関係を強化する内容とする。</li> <li>・学生が興味を持つ内容を増やし、興味や関心を持ってもらうように工夫する。</li> <li>・時間配分を検討し、シラバスに沿った内容を終了させるようにする。</li> <li>・期末テスト・レポートの実施など、シラバスに即した進行とする。</li> </ul>	

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：形態機能学	授業コード：22020
担当教員氏名	遠山 稿二郎
<p>多くの学生さんが、授業内容に込めた「意義」を理解していただいたようで、大変、光栄です。多くの方に「発生を含めた内容」を評価していただきました。</p> <p>当方の力不足で、設定した内容が、皆さんの許容量を超えたことがしばしばあったようですね。ただし、「大学」である以上、「教科書」の内容に加えて、ある程度「知識」の背景も理解することを望みます。【専門的な知識の幅】は専門職である「看護師」を目指す皆さんにとって、決して無駄ではない、と確信します。配布のプリントについては、メモを書けるように改善します（A3にする）。スライドの説明はさらに丁寧にするよう努力します。マイク環境は既に改善できました。スクリーン上の画像サイズは大きくできることが分かりましたので、早速、対応します。スライドの文字はできるだけ大きくし、簡潔な用語を使って説明するよう努力します。最後に、担当教師からのお願いです。折角、対面で授業をしているのですから、「疑問」はその場で手を挙げて「意思表示」していただくと助かります。くれぐれも「聞き捨てしてしまう」消極的受講態度は改善するよう努力しましょう。</p>	
授業科目名：形態機能学	授業コード：22020
担当教員氏名	田中 裕二
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義資料の量が多いとのことですが、国家試験を受験するためにはこれ位の知識は必要です。国家資格を有して患者をケアする訳ですから、正確な知識が必要です。中途半端な知識では困ります。</li> <li>・当初は対面での講義を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言のために盛岡に行くことができなくなりました。1日の講義時間数については検討したいと思います。</li> <li>・ネット環境に関しては大学に要望してください。</li> </ul>	
授業科目名：ヘルスアセスメント	授業コード：22070
担当教員氏名	竹本 由香里、菊池 和子、作間 弘美、成田 真理子、原田 圭子
<p>全体的に評価が高く、学生のみなさんも熱心に講義・演習に参加していたと評価できます。ヘルスアセスメントでは、事前学習として形態機能学に関連したワークシートを配布し、各教員が解剖生理とのつながりを意識した講義を計画しました。演習でも、教員5～6名が指導にあたり、少人数制で演習指導を行っています。このようなことが、高い評価につながっていると考えられますので、今後もこのような方法を継続していきたいと思います。</p> <p>改善点としては、パワーポイントの字の大きさ、声の聞こえにくさは講義室の広さを考え、みなさんの反応を確認しながら改善したいと思います。課題の提出日などは明確に提示していくようにします。</p>	
授業科目名：臨床栄養学	授業コード：22090
担当教員氏名	加藤 哲子
<p>配布資料が見つらい等の意見がありました。理解しやすくなるように図式化する等屈します。また、画像を取り入れる、資料を穴埋め式も取り入れるなどの提案があったので参考にしたいです。</p> <p>学生の皆さんはデジタル教科書ですが、非常勤講師は紙の教科書しか渡されていません。教科書の良さを生かせずにいますが、ご理解いただきたいです。</p>	

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：ヘルスプロモーション論	授業コード：23030
担当教員氏名	青柳 美樹、福島 道子
<p>授業については、全ての内容をお話することはできません。高校までの授業と異なり、大学では自分達で授業以外の内容について学修を進めていかなくてはいけないものです。自分達で疑問を見つけ、興味を持って調べることが大学では大事になるのです。このことが、将来卒業しても皆さんの力になっていきます。特にヘルスプロモーション論では、概念がどのように身近な活動と結びついているのかを考えていくことを中心に展開しましたので、全て法律や制度については説明する時間はありませんでした。しかし、教科書や資料を活用する際は、どの部分を説明しているのかしっかり伝えていきたいと思えます。</p> <p>試験の難易度は、国家試験でよく出題されるものに合わせています。また、教科書、配布資料以外からは出題していません。法律や制度についても、必須のもので、看護職にとって不可欠なものであり、そのことは伝えていきます。試験だから学修するのではないということ、また、当然ながら試験範囲は授業で学修した全てのことです。ですので、授業時間内のメモ、毎回復習をしっかりとしておく必要があります。ただ、最終日に試験内容として覚えておくポイントを伝えましたので、もう少し余裕を見て伝えるようにします。小テストの回答は、メール配信するようにしましょう。ただ、考えてほしいので、解答理由の記述はしません。わからないところは、積極的に質問に来ることを推奨します。</p>	
授業科目名：災害援助論	授業コード：23070
担当教員氏名	大越 扶貴
<p>講義、グループワークともおおむね評価は高かった。引き続き学生からの質問に会える応答や最新の情報を基にした講義を行っていく。指摘のあったグループワークの際、特定の個人に資料作成の負担がかかることに関しては、発表資料の工夫（模造紙で全員で作成するなど）の提案などをしていきたい。また、講義資料に関しては、後部席でも見えるようポイントを大きくするなど意見のあった内容に関して改善していく。</p>	
授業科目名：看護学概論	授業コード：31010
担当教員氏名	菊池 和子
<p>評価は3.68～3.89の間でした。「授業の予習・復習などの自己学習をしましたか」が、最も低い評価でした。シラバスや初回の授業の配布資料に授業予定を記載しており、その部分に関連した内容を予習するよう、また復習の必要性を説明していますがその意図をさらに詳しく説明し、動機づけるようにします。自由記述では、看護の定義や基本事項をしっかり学べた、看護全体について学べて看護とはどのようなものか考えられた、世界の看護についても学べた、他の人の意見を聞ける機会が多く自分の考えと比較して考えることができた、看護の本質を考えることができた、動画を使いながらの授業が分かりやすかった、覚えるのではなく理解することが重要だということを考えさせられた、様々な分野を面白く学習できた、等の記述がありました。改善点については、先生が話すだけでは頭に入らないので自分たちで調べてまとめる機会を増やしたら良い、課題レポートがあると考察しやすいのもう少し増やしてもいい、板書が少し見づらい、声が聞き取れない、どこが大事なのか分からなかった、等の記述がありました。</p> <p>看護についての関心を深め視野を広めることをねらった授業を展開し、看護の全体について幅広く学べたように思われますが、大事な点が分かりにくい、といった意見もあったことから、大事な点をより強調して説明していきます。ビデオの活用や学生同士の意見交換を取り入れた参加型の学習については好評であることから、今後も継続していくこととします。課題レポートや自分たちで調べる機会を設けることについて今後検討し、板書が見づらい点や声が聞き取れない点については改善します。</p>	

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：基礎看護援助論	授業コード：31030
担当教員氏名	菊池 和子, 竹本 由香里
<p>評価は3.49～3.85の間でした。「予習・復習等の自己学習をしましたか」の評価が最も低く、授業前の課題やグループワーク課題を出していましたが、事前、事後学習の必要性をより強調して説明していきたいと考えています。自由記述では、看護職となるための必要な知識を学ぶことができた、自分の健康意識を高めることができた、健康や看護について深めることができた、グループワークが多く考えを深められた、等の記述が多くありました。</p> <p>改善点として授業毎に最も大事なポイントを教えてほしい、グループワークの時間がもう少し欲しい、等の意見がありました。</p> <p>健康は皆さんにとって身近な話題であり興味深く学べたと思われまます。また、ライフサイクル別看護や経過別看護の概要を学べ、後期の専門科目の導入になったと思われまます。グループワークを多く取り入れた参加型の学習は概ね好評であり、今後も感染対策に十分な配慮を行い継続していきたいと考えています。また、授業内容が多いこともあり、授業最後に重要なポイントを確認できるような時間を設けることとします。</p>	
授業科目名：看護倫理	授業コード：31070
担当教員氏名	石井 真紀子, 清水 哲郎, 濱中 喜代
<p>授業評価アンケートに対する回答、ありがとうございました。確認しました。</p> <p>授業の説明で要点を得ない、分かりにくい、長いという意見がありました。これについては、分かりやすく要点を押さえて皆さんに説明するように検討します。</p> <p>授業の中で2事例の検討をしていただきましたが、特に2事例目が難しいという意見がありました。今後の検討事項とさせていただきます。</p> <p>また、クラスルームの使い方についても、授業開始時に丁寧な説明をしたいと考えております。</p>	
授業科目名：療養援助技術論	授業コード：32010
担当教員氏名	竹本 由香里, 菊池 和子, 作間 弘美, 成田 真理子
<p>全体的に評価が高く、学生のみなさんも熱心に講義・演習に参加していたと評価できます。療養援助技術論では、演習時に学生数を2グループに分けて教員5～6名で担当し、少人数制で演習指導を行っています。このことが、高い評価につながっていると考えられますので、今後もこのような方法を継続していきたいと思ひます。</p> <p>改善点としては、演習要項、演習前の説明についての意見がありましたので、より理解しやすい資料作成、説明を行うようにしていきます。</p>	

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：看護過程論		授業コード：32020
担当教員氏名	木内 千晶、菊池 和子、竹本 由香里、下野 純平、大谷 良子、 甲斐 恭子、齋藤 史枝、作間 弘美、成田 真理子、佐藤 恵	
<p>今年度は授業形態を講義と演習・発表を交互に行う方式としました。その結果、看護過程のプロセスを段階的に理解し、講義で学習した直後にその部分を演習で記録することができました。この方式により、全学生の記録を同程度の期間で進めることができ、授業評価点数においても前年度より改善がみられました。今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策として、席を固定しスクール形式の座席位置のまま、担当教員が各担当学生のところを巡回する方式で個別指導を行いました。その方法については、質問がしやすかった等、概ねよい評価を得られました。しかし、教員による説明内容の違いについての意見が複数見られるため、担当教員での事前の打ち合わせを密に行い、学生からの質問に対しては、全体への統一した回答を行うなどの工夫をしていきます。また、カリキュラム上、ほぼ1ヶ月間で授業を行うため、課題の時間不足や量の多さに関する意見もみられました。時間割において、講義と演習との間隔にさらなる配慮をし、時間外の担当教員の相談等についても対応の体制を整えていきます。</p>		
授業科目名：がん看護論		授業コード：32110
担当教員氏名	石井 真紀子	
<p>授業評価アンケートに対する回答、ありがとうございました。確認しました。</p> <p>まずは「慢性期看護技術論」の単元の内容と並行して進めていたため、途中で科目を変更したことから、本時はどちらの科目のどの単元を行うのか、が不明瞭でした。授業が開始になる時点で明確に指示し途中で変更のないようにします。</p> <p>課題量が多い点については、過度の負担にならないように検討します。</p> <p>また、配布資料やパワーポイントが見えにくいという意見もありましたので、これについても、皆さんの学習に支障が内容に検討します。</p>		
授業科目名：老年看護援助論		授業コード：32140
担当教員氏名	勝野 とわ子、木内 千晶	
<p>今年度以降もみなさんが理解しやすくまた興味を持って高齢者の方々への看護について知識を深め、意欲を持ってさらにより良い看護を目指す力を身に付けられるよう講義をしていきます。</p>		
授業科目名：母性看護学概論		授業コード：32170
担当教員氏名	江守 陽子	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、全体におとなしいと感じます。熱心に聞いてくれている学生と、寝ている学生とがいます。母性看護学は、生殖や性別・男女差に関する内容を抜きには講義できませんが、性のとらえ方は個人差が大きいものです。</li> <li>・学問として講義しているのですが、中には性や生殖器に関する内容が不快に感じ、受け止め切れないのかもしれないかもしれません。</li> <li>・プリントを配ってほしい、紙の資料が欲しい、資料がない、とのコメントが3件ありました。予習してもらう目的で、講義資料はグーグルの「クラスルーム」に毎回、講義の約1週間前に掲載しています。当日を含め、資料なしで授業を受けている学生がいたのでしょうか。</li> </ul>		

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：母性看護技術論	授業コード：32190
担当教員氏名	江守 陽子、大谷 良子、佐藤 恵
<p>・看護過程の展開は事前学習とグループ学習を中心に展開しています。 看護技術演習はアクティブ・ラーニング方式のグループ（自己）学習を中心にすえ展開していますが、学生にはアクティブ・ラーニング方式の学習方法が理解されていないようです。</p> <p>・次年度は、本学の授業の特徴であるアクティブ・ラーニング方式の学習方法を変更すべきかと考えています。</p>	
授業科目名：小児看護学概論	授業コード：32210
担当教員氏名	濱中 喜代
<p>2年生全員から回答を得た結果、3.73～3.90の範囲で総合評価も3.88の好評価であった。自由記載においては小児および小児看護学について理解が深まったとの意見が多かった。改善してほしいなかにグループ発表に時間がかかりすぎて進度が早かったとの意見があったので、次年度は時間配分について配慮して進めたい。</p>	
授業科目名：小児看護技術論	授業コード：32230
担当教員氏名	濱中 喜代、遠藤 芳子、下野 純平
<p>3年生56件68%から回答を得た。結果、3.61～3.89の範囲で総合評価も3.75の評価であった。自由記載においては事前事後学修により学びが深まった、丁寧に分かりやすかったとの意見が多かった。健康教育の演習では時間に余裕がなかったとの意見があった。改善策として、次年度は課題の提示を早くから行い、時間的に余裕を持たすことと、前年度の学生のモデルを示すなどしてイメージしやすいように工夫したい。また演習時は実習室内でも適宜マイクを使用して聞き取りやすいようにしたい。</p>	
授業科目名：精神看護学概論	授業コード：32250
担当教員氏名	岡田 実
<p>スライドは紙媒体をあえて使わないようにしています。ルーズリーフにメモするなり、スライドに書き込むなり工夫していただくようお願いいたします。紙は重要な資源ですからあまり消費したくないとも考えています。</p>	
授業科目名：精神看護技術論	授業コード：32270
担当教員氏名	岡田 実
<p>紙媒体ではなく、あえてエクセルの機能を活用しながら実習生の認知プロセスに合致した試みをしました。iPadだとエクセルの機能に一部制限があったりしますので、やりにくさを感じたかもしれません。今後は紙媒体の活用も考慮したいと思います。</p>	



令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：在宅看護学概論		授業コード：41010
担当教員氏名	大越 扶貴	
<p>講義内容についてはおおむね平均値よりも評価は高かった。引き続き学生からの質問に対する応答や最新の情報を基にした講義を行い、国家試験過去問題も活用した講義をしていく。</p> <p>参加型の授業を意図していることから、講義中、授業に関連する問題への問いを投げかけ記述していただき、次回以降の講義でフィードバックする方式もとっている。しかしこの点に関する自由回答記述がなかったため、今後はその作業の意味付けをしながら導入していきたい。また、教員の経験談（コミュニケーションの失敗談）の後の類似経験の有無の挙手などは、学生の抵抗感も検討し、講義中の教員の発問には創意工夫と倫理的配慮を徹底する。</p>		
授業科目名：在宅看護技術論		授業コード：41040
担当教員氏名	大越 扶貴	
<p>全体評価は平均値であった。講義に関しては、評価は高かったが演習に関連する項目に関しては、様々な意見を頂いた。</p> <p>1点目、“教員によって指導内容にばらつきがある等に関しては、新規採用教員等との演習に関する打ち合わせ不足が大きいため、演習前には丁寧な打ち合わせを実施していきたい。また経験値や力量の異なる教員を育成するのは上席教員の仕事のため、新規採用教員等のスキルの標準化や教員としての倫理的配慮を守るための環境を整えていく。</p> <p>2点目、“演習時間がタイトだった”に関しては、1点目の課題も影響要因であるが、演習目的（ゴール）を見直し内容も再検討するなど改善を図っていく。</p>		
授業科目名：公衆衛生看護技術論		授業コード：42030
担当教員氏名	福島 道子、青柳 美樹	
<p>保健師課程初年度のため、さまざまな不都合が生じたと思いますが、保健師養成として必要な内容はお伝えいたしました。また、保健師資格の取得が看護師資格の「上乘せ」の位置づけにあることから、授業の難易度として「高い」という感想をもたれたのは無理ないと思います。にもかかわらず、皆さん、しっかりと学修されていたと思います。以下は、皆さんから寄せられた「改善してほしい点」への回答です。</p> <p>1) シラバスと実際の授業展開の不一致については、2022年入学生からのカリキュラム改正によって改善されます。それまでは、理由を説明したうえで進めたいと思います。</p> <p>2) 配布資料の印刷の仕方は、学生それぞれの希望があると思うので、初回にご希望を聞いたうえで進めます。</p> <p>3) 「配布資料が多い」との指摘ですが、不必要なものを配布したつもりはないのですが、厳選していきたいと思います。</p> <p>4) 「小テストの出題箇所」とあり、「出題箇所を教えてください」と理解しました。この件は今まで通り、出題範囲の提示のみに留めたいと思いますが、その提示が曖昧だったでしょうか。明確に伝わるようにいたします。</p>		

令和2年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：公衆衛生看護管理論	授業コード：42040
担当教員氏名	福島 道子、青柳 美樹
<p>保健師課程初年度のため、さまざまな不都合が生じたと思いますが、保健師養成として必要な内容はお伝えいたしました。また、保健師資格の取得が看護師資格の「上乘せ」の位置づけにあることから、授業の難易度として「高い」という感想をもたれたのは無理ないと思います。にもかかわらず、皆さん、しっかりと学修されていたと思います。以下は、皆さんから寄せられた「改善してほしい点」への回答です。</p> <p>1)「例え話が例えではない」とのご意見が寄せられましたが、「例えば」と言いながら本論になっているという意味でしょうか。今後、注意したいと思います。</p> <p>2)「スピードが早い」とのご意見が寄せられましたが、「授業内容の進行が早い」と理解いたしました。できる限りの工夫をしたいと思います。</p> <p>3)「小テストの出題箇所」とあり、「出題箇所を教えてほしい」と理解しました。この件は今まで通り、出題範囲の提示のみに留めたいと思いますが、その提示が曖昧だったでしょうか。明確に伝わるようにいたします。</p>	
授業科目名：災害看護論	授業コード：43050
担当教員氏名	大越 扶貴（オムニバス）
<p>3年生の災害援助論を踏まえた、4年生の新規科目でありオムニバスで実施した。COVID-19下で、外部ゲストによる講義は2つから1つ（在住外国人の災害対策）のみとなったが、実際的な話だったためおおむね評価は良好だった。引き続きゲストの招聘やグループワークの充実を図っていく。</p> <p>課題の自己評価基準（ルーブリック評価を用いた）が難しいとの意見に関しては、ルーブリック評価の意義や評価項目の考え方などの説明が十分ではないことが原因と思われる。評価基準については丁寧に納得できるような形で説明していく必要がある。</p>	
授業科目名：看護教育論	授業コード：43070
担当教員氏名	菊池 和子
<p>評価は3.00～3.71の間でした。「課題やレポートと授業内容の関係が適切でしたか」が最も低い評価でした。8回の授業の中で教育内容を多く盛り込み、学習指導案を作成して実際に授業を行うことから、重要な点が分かりにくく、授業内容と最終評価のレポート課題の関係について分かりにくかったものと思われます。今後、最終評価のレポート課題と授業内容との関係について吟味し、課題の意図の説明を強化したいと思います。</p> <p>自由記述では、実際に授業をやってみたことが良かった、今後、患者さんへ指導するうえでも良い経験となった、授業設計も含めて学べて良かった、改善点については授業が長い、という記述がありました。</p> <p>今後、教育内容をより精選し、学生が余裕をもって学修できるように改善します。好評であった授業設計から授業を体験する内容は継続していきます。</p>	
授業科目名：看護管理論	授業コード：43080
担当教員氏名	竹本 由香里
<p>4年生にとっては、自身が就職した後のことを考えながら、興味関心を持って受講できたと思われる。授業の内容と総合評価については、統合科目の平均よりも高い評価であったが、学生自身の取り組みが相対的に低い評価であったことが課題である。</p> <p>特に、「予習・復習などの自己学習」、「学生自身の役割を果たす」の評価が低いことから、予習・復習について明確に示すこと、授業内での学生の主体的な参加を促すような授業の組み立てが必要であったと考える。</p>	